

刑事司法政策における 再犯防止の新たな取組

—矯正施設における立ち直り支援を中心に—

【概要】

再犯防止推進法や法制審議会の答申を受けての新自由刑の創設など刑事司法制度とりわけ、刑の執行とその後の社会復帰の在り方に大きな変化が起こってきている。それは、犯罪や非行に陥ったものを、反省の客体から更生の主体へ、そして、その生きづらさを解消しつつ、その生活を支援する、福祉的な取組が重視されるような枠組みに展開してきている。「正義」が優先してきたともいえる刑事司法の領域に「ケア」の概念をどのように浸透・展開していくのか、その今日的な課題等を共有する。

講師：中島 学 法務省札幌矯正管区長

【講師プロフィール】

博士（法学）：矯正施設における立ち直り支援の在り方を研究テーマとしている。

1988年法務省入省、法務教官、刑務官や法務本省・矯正管区等において法務行政に従事し、わが国初のPFI刑務所である美祢社会復帰促進センターの立ち上げに更生支援企画官として参画、その後、美保学園園長、高松・広島矯正管区第三部長、矯正研修所副所長、美祢社会復帰促進センター長、福岡少年院長等を歴任し、現職。近著に、「矯正実務からみた自由刑・施設内処遇改革の意義と課題」法律時報93巻第4号（2021）、『女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい』村中季衣・共著かもがわ書店（2021）などがある。

司会：中園 和貴 北海道大学公共政策大学院

日時：12月 9日（木）17:30～19:30

場所：北大人文・社会科学総合教育研究棟 W103教室
(Zoomによるオンライン参加も可)

■聴講について

この講演会は、公共政策大学院授業科目「福祉労働政策事例研究」の一環として実施します。

北海道大学内の教員・学生の方々の聴講を歓迎いたします。

(ただし、参加は北海道大学内の教員・学生に限定) 【要事前登録】

■参加申し込みについて

参加希望者は、公共政策大学院WEBサイトもしくは右下QRコードより「事前登録フォーム」にアクセスのうえ、①お名前、②メールアドレス、③ご所属先など必要事項を登録ください。

折り返し、オンライン接続情報をご案内します。**※登録×切：12月9日（木）10時まで※**

